

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年10月7日(2021.10.7)

【公表番号】特表2021-500325(P2021-500325A)

【公表日】令和3年1月7日(2021.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2021-001

【出願番号】特願2020-520777(P2020-520777)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/10 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/10

A 6 1 P 37/04 Z N A

A 6 1 P 11/00

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 15/09 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月30日(2021.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

医薬上許容される担体及びFim3を安定的に産生するように組み換えられた生弱毒化ボルデテラ(Bordetella)菌株を含むワクチンにおいて、前記生弱毒化ボルデテラ(Bordetella)菌株は、哺乳動物対象の肺にコロニー形成し、ボルデテラ(Bordetella)感染に対する防御免疫応答を誘導する能力を保持していることを特徴とするワクチン。

【請求項2】

請求項1に記載のワクチンにおいて、前記生弱毒化ボルデテラ(Bordetella)菌株は、Fim2を安定的に産生することを特徴とするワクチン。

【請求項3】

請求項1に記載のワクチンにおいて、前記生弱毒化ボルデテラ(Bordetella)菌株は、機能的百日咳毒素(PTX)、機能的皮膚壊死毒素(DNT)及び機能的気管細胞毒素(TCT)から成る群から選択される少なくとも1種のビルレンス因子が欠失させられていることを特徴とするワクチン。

【請求項4】

請求項1に記載のワクチンにおいて、前記生弱毒化ボルデテラ(Bordetella)菌株は、機能的PTX、機能的DNT及び機能的TCTから成る群から選択される少なくとも2種のビルレンス因子が欠失させられていることを特徴とするワクチン。

【請求項5】

請求項1に記載のワクチンにおいて、前記生弱毒化ボルデテラ(Bordetella)菌株は、PTX、機能的DNT及び機能的TCTが欠失させられていることを特徴とす

るワクチン。

【請求項 6】

請求項 2 に記載のワクチンにおいて、前記生弱毒化ボルデテラ ( *Bordetella* ) 菌株は、機能的 P T X 、機能的 D N T 及び機能的 T C T から成る群から選択される少なくとも 1 種のビルレンス因子が欠失させられていることを特徴とするワクチン。

【請求項 7】

請求項 2 に記載のワクチンにおいて、前記弱毒化生ボルデテラ ( *Bordetella* ) 菌株は、機能的 P T X 、機能的 D N T 及び機能的 T C T から成る群から選択される少なくとも 2 種のビルレンス因子が欠失させられていることを特徴とするワクチン。

【請求項 8】

請求項 2 に記載のワクチンにおいて、前記生弱毒化ボルデテラ ( *Bordetella* ) 菌株は、機能的 P T X 、機能的 D N T 及び機能的 T C T が欠失させられていることを特徴とするワクチン。

【請求項 9】

請求項 1 に記載のワクチンにおいて、前記ワクチンは、少なくとも  $1 \times 10^6$  コロニー形成単位 ( C F U ) の前記菌株を含む単回剤形で投与されることを特徴とするワクチン。

【請求項 10】

登録番号 C N C M I - 5 2 4 7 を付して the Collection Nationale de Cultures de Microorganismes ( C N C M ) に寄託された B P Z E 1 f 3 と指名されたボルデテラ ( *Bordetella* ) 菌株。